

兵庫県川西市 病院事業会計
経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

(1) 診療体制の充実（前年度末比）

- ・看護職員の確保 2人増
- ・医療技術職員の確保 1人増

(2) 医業収益増収に関する改善額

- ・休床中病棟の再開による稼働病床の拡充
休床中病棟（3階南病棟）の再開等を平成27年5月に実施し、稼働病床を従前の199床から234床とした
 - ・救急車搬送患者の積極的受入れ、時間外救急患者対応時の適正対応、受入れ可能症状（疾患）の拡大
救急車搬送患者数比較 前年度比74人増
 - ・土曜日の地域医療連携室窓口業務の開設
新規開設日の検査や診療の予約や相談受付 494件
 - ・分べん費用減額改定
分べん費用の平均が約54万円から約48万円になるよう減額
 - ・近隣自治体への情報提供の充実
分べん費用の減額改定の情報提供（猪名川町・能勢町・豊能町）
豊能町の妊婦健診について、平成28年7月から健診補助券の利用による受診の受入を開始 豊能町からの受入実績 18人
 - ・画像診断管理加算2の適用（平成27年12月から）
平成28年度実績 約1,547万円増収
 - ・感染防止対策加算（平成28年2月から）
平成28年度実績 約1,439万円増収
 - ・後発医薬品の使用率が70%を超えたことによる診療報酬の増（平成28年4月から）
平成28年度実績 約454万円増収
 - ・適切な退院支援による退院支援加算の見直し（平成28年7月から）
平成28年度実績 約433万円増収
 - ・初診時選定療養費、診断書等の文書料の改定（平成28年5月から）
平成28年度実績 約861万円増収
 - ・その他の増収策
認知症ケア加算2の算定実施（平成29年3月から）
診療報酬改定により新たに設けられた乳房MRI撮影の実施（平成28年4月から）
心大血管疾患リハビリテーション料の実施（平成29年1月から）
- (3) 医業費用抑制に関する改善額
- ・退職医師の不補充
嘱託医師退職(4名)の不補充による減 約3,800万円減
 - ・医師の特殊勤務手当(特別診療手当)見直し
平成28年度実績 約1,100万円減
 - ・嘱託看護師を導入し、弾力的な運用を可能とした(平成28年7月から)
正職看護師の増員を抑制し6名分を嘱託看護師で対応 約1,400万円減

- ・委託等契約の見直し

単年度契約を複数年契約に変更、医療機器等保守内容の見直し 約300万円減

(4) その他の取組み

- ・オーダーリングシステムの更新に合わせ電子カルテシステムを導入
医療サービスの向上とともに、院内情報の共有化、事務の迅速化

(5) 一般会計からの支援

病院経営安定化支援補助金 1億円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成27年度)	平成28年度 (第2年度)	平成29年度 (第3年度)	平成30年度 (第4年度)
	A	B	C	B-A又はC-A		
当初計画	A		346,000	17,000	△92,000	149,000
解消実績額	B		401,956	△52,923	—	—
現在計画	C		401,956	△52,923	△92,000	149,000
	B-A又はC-A		55,956	△69,923	0	0
資金不足額		1,018,360	616,404	669,327	761,327	612,327

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成27年度)		平成28年度 (第2年度)		平成29年度 (第3年度)	平成30年度 (第4年度)	備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率	25.8	15.1	13.8	13.3	14.0	14.9	11.8	資金不足額が70,000千円計画額に届かなかったため。

※ 表中の「備考」欄には、当該年度（平成28年度）の計画値と実績値の差異の理由について記載している。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

病院においては日々のミーティングにより課題解決策を迅速に示すほか、市長部局との連携においても、収支状況等の情報提供を定期的に行うことで、課題解決に向けた方策を協議している。